

## 第2回猿島公園指定管理者選考委員会議事録

### 概要

日時：令和3年10月18日（月） 午前10時00分～午前11時20分

場所：横須賀市役所本庁舎3号館 5階 正庁

（応募団体控室は303会議室、傍聴者控室は404・405会議室）

出席者：選考委員

◎中藤 誠二（関東学院大学理工学部 教授）

○三浦 勝明（横須賀市環境政策部公園管理課長）

矢島 國雄（明治大学 名誉教授）

増淵 敏之（法政大学大学院政策創造研究科 教授）

高橋 直人（横須賀市教育委員会事務局教育総務部生涯学習課長）

\*敬称略 ◎委員長 ○職務代理者

：事務局

千葉・小野・増田・内山・齋藤・竹下・前原・小林・藤平・須田・福田

（環境政策部公園管理課）

傍聴者：13人

### 議事次第

- ・第2回猿島公園指定管理者選考委員会開会
- ・非公開での進行についての事前説明（事務局）
- ・公開での応募者によるプレゼンテーション・質疑応答

### 第2回猿島公園指定管理者選考委員会 開会（非公開部分含む）

- ・本委員会の委員数は5名であり、指定管理者選考委員会等条例の第4条の規程による定足数の半数以上の出席があることから、本委員会の成立を確認。【各委員】
- ・猿島公園の応募団体は1団体であり、提出書類を確認したところ、各団体とも応募資格に問題が無いことを確認。【各委員】
- ・当日の応募者によるプレゼンテーション・質疑応答の方法等について確認【各委員】
- ・傍聴者入場（13名）

### 猿島公園 応募団体① パークコミュニティよこすか

●プレゼンテーション 20分間

※プレゼンテーション開始前に説明資料（パワーポイントの表示画面を印刷したもの）を配布。

（事前に応募団体から事務局へ提出され、事務局にて内容確認済みの補助資料）

\*終了後回収なし

(委員 質問)

- 経年劣化が進むなかで史跡として形状を保全しつつ観光地としての運用もする場合、具体的にどのように対応していくか。また、劣化が進み、立入禁止箇所が増えていくことも考えられるが、史跡の保全策等はあるか。
- 猿島公園が「防災の拠点」となる提案がなされているが、どのようなことを想定しているか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 専門家と話し合うことが大切だと思っている。ただし、崩落発生箇所等も公開し、自然現象によってこのようになったということを伝えることも大事だと考えている。技術的なことは、専門家及び市と話し合い、専門的知見を得て検討していきたい。
- 島自体が防災基地になるということではない。面として捉えたときに、多くの人が住んでいる対岸で大規模災害が起きた場合、猿島公園がハブ港になると考えている。また、防災を学んでいく場として、猿島公園を活かしていきたい。

(委員 質問)

- 人工物（史跡）の経年劣化が進んでいるが、構成員には文化財の専門家がいないため、体制が弱いように思える。植物が史跡に影響を与えることが多々あることが想定されるなかで、適正な管理のためには植物の専門家だけでなく、史跡の専門家も必要だと思うが、どのように考えているか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 専門的知見が必要だと考えている。専門家を招いて独自に何かをすることは考えておらず、市と連絡し、市の意向に沿って管理していきたい。また、市の意見を聞くような受け身の姿勢だけでなく、考えを市に伝えていくことも大切だと考えているため、十分に相談していく。

(委員 質問)

- ピーク時、年間どのくらいの来園者が訪れているか。
- 管理棟等の施設の老朽化が見受けられるが、今後修復はしていくのか。
- 猿島公園を観光地として、全国的に広めるための方策は考えているか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 20 万～24 万人くらいである。
- 大規模なものになり、コストも大きいため、市の意向を踏まえて相談して決めていきたい。
- 現在は、夏のレジャーの島というイメージが強いが、人気を平準化していくため、史跡のガイドを強化し、他にはない「無人島の中の史跡」ということを PR していく。

(委員 質問)

- 千代ヶ崎砲台跡等ほかの史跡軍を繋いだプログラムは考えられるか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 浦賀や千代ヶ崎など史跡を巡るツアーを計画している。他ではできないツアーを企画していきたい。

#### (委員 質問)

- 国の史跡であるため、現状変更を行うときなど文化財の許可が必要になることが多々あり、その際には相当な時間を要するという点について、理解してもらいたいが問題ないか。
- 各ガイド団体との連携について、協働は打診している段階なのか。
- 業務委託料が隔年で増減している理由は何か。

#### (パークコミュニティよこすか 回答)

- エコステーション建設についても時間がかかることを理解していたので、昨冬から相談していた。図面の変更があれば再度許可が必要であることも理解している。今後も逐一の相談を徹底していく。
- 30分、60分、90分のガイドに分かれることは、既に話している。具体的には指定管理者確定後に話すこととしているが、概ね好印象だと考えている。時間をかけて調整していきたい。
- 隔年の点検業務等があるためである。

#### (委員 質問)

- ほかの施設と面で捉える提案が多かったように思えるが、仮に猿島単独の管理となった場合はどのように考えているか。
- 公益事業の実績が挙げられているが、ノウハウを活かしてスポーツ・文化的なイベントは猿島公園で計画しているか。
- 史跡保全に関する手引書の作成とあるが、具体的にどのように進めていくか。

#### (パークコミュニティよこすか 回答)

- 史跡、観光地であることは変わらないのでうまく運営していく。猿島島内の管理については影響されない。
- 音楽イベントをできればと考えている。スポーツは難しいと思うが、実績としてシーカヤックを行ったことがある。また、海辺釣り公園からサップで猿島へ行きたいという声も聴いているので、猿島を舞台にした事業は行っていきたい。
- 時間がかかるものだと考えている。各ガイド団体にヒアリングを行い、統一できていないところの確認や問題点を洗い出すなどしていきたい。また、希望事項や禁止事項等の市の意向もヒアリングしていき、市民からの問い合わせの対応の統一化を図っていく。

#### (委員 質問)

- ホームページは、市やガイド協会の情報も掲載するという認識でよろしいか。
- 平日閑散期の利用を促す提案が見受けられなかったが何か考えているか。また、市民利用を促す提案はあるか。
- 自主事業において赤字の部分があるが、改善策はあるか。
- 事業提案書の中に夜間早朝を含むスペシャルツアーを増やすとあるが、仕様書では、時間外の利用は非日常の体験を特別に提供することを基本として定めているため、積極的に提供しすぎると希少性が失われると考えられる。その点のバランスが難しいと考えるがいかがか。

#### (パークコミュニティよこすか 回答)

- そのとおりである。これまで各々の団体でホームページを作成していたため、情報がバラバラになっていた。今後は情報を集約し、入り口を一つにする。
- 平日にゆっくり案内を聞きたいという声が非常に多いため、平日の案内を充実させていく。また、市民利用については、割引や平日の充実した案内など、策を講じていきたいと考えている。
- 公益事業やイベントを開催するなどの複数の行事を実施し、訪れる利用者を増やしたい。
- 毎週同じツアーを行わず、ラインナップを変えていく。また、時期を絞るのも案だと考えている。

#### (委員 質問)

- 障害者等の入島時の対応は決まっているか。
- 入島人数の上限はあるか。例として、音楽イベントの際はどのくらいか。
- 大音量で音を流すことで騒音になり、苦情が来ることも想定されるがルールは決まっているのか。

#### (パークコミュニティよこすか 回答)

- 平坦な道は問題ないが、坂や舗装されていない道は危険であることの案内をしている。また、来園者の状況によって対応が異なるため臨機応変に対応している。
- 以前行った音楽イベントは500人くらいだったが、音楽イベントについてはそれが上限だと考える。コロナ禍における同時滞在人数は1600人としているが、1か所に人数が集中すると密になってしまうため、臨機応変に対応している。今後のイベントは、夜間については安全管理が大変であるため、慎重に考えるべきだと思っている。密を避けた非日常の空間を提供するのが今後の方向になると考えている。
- 横須賀市の音楽イベントを開催したノウハウを活かしてすり合わせていければと思う。SDGsの考え方を守り、人の迷惑とならず協調できるようなものにできるように考慮していくが、詳しくは市と細かく打ち合わせが必要だと考える。

#### (委員 質問)

- 提案内容は、SDGsウォッシュでないか。簡単にSDGsと言うと誤解を招くのではないか。

#### (パークコミュニティよこすか 回答)

- SDGsだから、と思考を停止して物事を述べるだけでなく、中身をしっかり取り組んでいきたい。プロジェクトの説明の時にはSDGsという言葉を使うが、猿島公園ではあまり謳っていない。まずは猿島を守っていく概念に重きを置いていく。

#### (委員 質問)

- 猿島公園に入園後、危険人物が暴れたときなどは環境上、特殊な対策が必要だと考えるが、いかがか。
- 警察はどのように来るか。救急対応はどのようになるか。
- 島内のスタッフ人数は最低、また最高何人いるのか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 一時的にはスタッフで対応するが、二次被害が起きることも考慮し、すぐに警察を呼ぶ。警察が来るまでは我慢するしかないが、常々目を光らせておくことが必要だと考えている。そのため、市に防犯カメラを設置してもらった。警備員の常駐が最も望ましい対応だと思うので、繁忙期の導入は検討しても良いと考える。
- 緊急の場合は臨時便を出しているなので、警察は10、20分で来ることができる。救急対応については、猿島公園内で一次救急を行い、すぐに臨時便を呼ぶ対応となる。三笠栈橋で救急隊に待機してもらい、そこまで運ぶか、患者が動けない場合は臨時便に救急隊が乗船し、猿島に来て対応する。
- 平常時は少なくとも10名、繁忙期は20人以上の配置をすることもある。

プレゼンテーション・ヒアリング終了

【事務局からの連絡事項】

終了

【事務担当：横須賀市環境政策部公園管理課管理第2係 千葉・福田 TEL046-822-9561】